

歴史教育シンポジウム：歴史総合をめぐる(7)

「歴史総合」の授業と教員養成を検討する

2023年10月28日(土曜日) 午後1時～5時

ハイブリッド開催 対面会場：一橋大学(東キャンパス) 東2号館 2201教室

このシンポジウムでは「歴史総合」についてすでに6回検討してきた。歴史総合は2022年4月から授業が始まり1年以上が経過した。授業構想ではなく実際に授業を実施して、歴史教育の新しい側面の発見や逆に授業の困難も幾つか報告されている。今回は歴史総合が必修科目である点に注目して企画した。歴史総合が学校教育で最後の歴史の授業になるかも知れない生徒に授業を行っている教員などに報告を依頼してみた。また、歴史総合や探究科目は、新しい試みであるために多くの現職教員は大学でその訓練を受けていない。これから教員になる大学生にどのような歴史教育を行っていくかを考えてみる必要があるだろう。3つの報告は、歴史教育の今後を考える貴重な素材を提供すると期待している。

プログラム

開会挨拶 若尾政希 一橋大学教授・日本学術会議会員(第24, 25期)・日本歴史学協会委員長
趣旨説明 君島和彦 東京学芸大学名誉教授・日本学術会議連携会員(第24, 25期)
司会 高澤紀恵 法政大学教授・日本学術会議連携会員
鈴木 茂 名古屋外国語大学教授・日本学術会議連携会員

報告

吉嶺茂樹 札幌日本大学高等学校教諭

必修科目としての歴史総合ー通信制、遠隔授業、そして普通科の高校で

井本幸輝 山口県立宇部西高等学校教諭

地域教材を活用した歴史総合の実践(仮)

小嶋茂稔 東京学芸大学副学長・日本学術会議連携会員

『歴史総合・探究』の時代の歴史の教員養成のあり方をめぐって(仮)

コメント 松本直子 岡山大学文明動態学研究所所長・日本学術会議連携会員

閉会挨拶 栗田禎子 千葉大学教授・日本学術会議会員(第24, 25期)

※参加ご希望の方は下記URL・右QRコードよりお申し込み下さい(〆切10月27日)。
※オンライン参加のみなさまには、開催当日までに接続先の情報などをお知らせいたします。対面参加の場合にも、会場準備の都合がございますので、かならず事前にご登録ください。

<https://forms.gle/8vs9jYDD6UsYBjlm6>

※対面会場アクセス: 下記URL・右URLコードで表示される地図31番の建物です。

<https://www.hit-u.ac.jp/guide/campus/campus/index.html>

